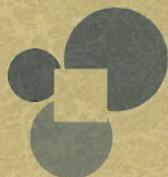


20周年記念誌

逆境に道あり

Impossible is nothing (不可能なんてあり得ない)

平成16年11月



関東甲信越板金工業組合協議会青年部

目 次

挨拶	木村治・関東甲信越板金工業組合協議会青年部部長（七代）	3
祝辞	宮澤秀幸・関東甲信越板金工業組合協議会会长	4
	河田雅彦・全国板金工業組合連合会青年部部長	4
	勝又貞治・全国板金工業組合連合会理事長	5
	曾根隆・関東甲信越板金工業組合協議会青年部初代部長	5
	平野光男・関東甲信越板金工業組合協議会青年部二代部長	6
	石田修巳・関東甲信越板金工業組合協議会青年部三代部長	7
	田中仁・関東甲信越板金工業組合協議会青年部四代部長	8
	徳武和芳・関東甲信越板金工業組合協議会青年部五代部長	9
	野口育男・関東甲信越板金工業組合協議会青年部六代部長	9
20周年記念誌協賛メーカー		10
青年部 年度事業内容		11
ゴルフコンペ開催一覧		22
全板連青年部あすなろ研究会開催一覧		23
全国建築板金競技大会		25
全国建築板金競技大会の実施に際して		28
関東甲信越板金工業組合青年部協議会【設立趣意書】		30
関東甲信越板金工業組合協議会青年部規約		32
関東甲信越ブロック幹事・部長・都県板事務局名簿		35
組織図		39
編集後記		40
写真で見るこの10年の活動		41

関東甲信越板金工業組合協議会青年部 20周年を迎えて



関東甲信越板金工業組合協議会青年部
部長 木村 治（七代）

関東甲信越板金工業組合協議会青年部の創立20周年を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。
昭和59年の創立以来20年を迎える事ができましたのも親組合の皆様、各関係者の方々の御支援、御指導の賜物と厚く御礼申し上げます。

この記念すべき20周年を皆様と一緒に迎えられる喜びと共に部長という重責を担う事ができましたことを大変光栄に存じます。また、歴代の部長、役員ならびにOBの皆様、部員各位のご尽力と深く感謝申し上げます。

20年の重みある歴史を次世代へと受継ぐ重要な時期に立って板金業界の職域確保や拡大な未来の社会に更なる発展へとつなげるべく自覚を新たにし、時代の変化への対応と生き残るための活動を切り開いていきたいと願っております。

激動の時代にそなえ、青年部員が各種行事に積極的に参加し、親睦を図り、きづなを深めること、又、技術の向上、改善の情報交換、ネットワークづくりにより責任施工保証制度や各資格取得制度等、親組合と連携してより進展を図っていきたい所存であります。



祝 辞

全日本板金工業組合連合会理事長
社団法人日本建築板金協会会長

勝又 貞治

関東甲信越板金工業組合協議会青年部が創立20周年という記念すべき日を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

創立以来、将来の建築板金業界を担う熱心な若き技術者が集い、柔軟な発想と一致団結した行動力で数多くの実績を誇り、業界の後継者が日々着実に飛躍、成長していることに対しまして大変喜ばしく感じております。また、発足から今日に至るまで、貴青年部を支えて下さいました関係各位の皆様方に対しまして敬意を表しますと共に、その熱意に深く感銘を受けた次第であります。

今日の激変する社会情勢の中、皆様方に措かれましても幾多の問題を抱えていることは存じますが、貴青年部員同士の絆を是非とも大切にしていただき、「若い世代だからこそ成せること」に挑戦し続けていただきたいと思います。幸い貴青年部におかれましてはこの20年間で培われた数多くの経験と実績があるわけでございますので、その輝かしい財産を活かすと共に、新たな歴史の創造者となるべく業界発展にご尽力いただけるよう心より期待致しております。

最後になりましたが、貴青年部並びに各事業所の益々の御発展を祈念申し上げ、私のお祝いの言葉を結ばせていただきます。



祝 辞 「十歩先を見て」

関東甲信越板金工業組合協議会青年部

初代部長 曽根 隆

関東甲信越板金工業組合協議会青年部創立20周年を迎え誠におめでとうございます。この二十年の間には、二十世紀から二十一世紀と移り、我々の生活環境も大きく変わろうとしています。地球温暖化に伴なう台風や気温変化、又地震等の自然環境への対応など多くのことがらが私達の生活や仕事に関わってくると思われます。又建築業界全体の問題もさまざまありますが、中でも各事業所の減少は、我々板金工事業者としても多いに考えさせられるところであります。現在、後継者の居られる事業所は、未来に対して情熱や意欲を感じられます。

私が今読んでいる本の中に、阪急電鉄の小林一三さんの隨筆集にこういう観想がありました。

百歩先の見えるものは、狂人あつかいにされる。

五十歩先の見えるものは、多くは犠牲者となる。

十歩先の見えるものが、成功者である。

現在が見えぬものは、落伍者である。

なるほどと思う所存であります。

青年部活動を通じ良き仲間づくりと、事業・行事実施の経験をご自分の糧として、十歩先の見える事業者を目指してください。

終りに、各青年部の方々のご健康と事業所の益々の繁栄を祈念してお祝いの言葉といたします。



祝 辞

関東甲信越板金工業組合協議会

会長 宮澤 秀幸

関東甲信越板金工業組合青年部創立20周年に当たり心よりお祝い申し上げます。

この20年という年月を考えますと、社会情勢・経済情勢は大きく変化しました。私達の板金業界もまた例外なく変化し、同時に変革の時期に迫られていると感じています。

その中で青年部の存在意義と必要性をあらためて考えてみると、師匠と弟子、上司と部下といった縦の繋がりとは異なる同世代の横の繋がりを構築し、個々の発展と業界全体の発展に繋げていくことだと思います。

技術面での共通した疑問、経営面での悩み、あるいは私生活での相談事等あるでしょうが、是非同世代というメリットを生かし、共に解決して頂き、邁進して頂きたいと思います。

貴青年部がこの20周年を契機とし、より一層の結束力を高め、益々発展されますよう祈念し、わたくしのお祝いの言葉と致します。



祝 辞

全日本板金工業組合連合会

社団法人日本建築板金協会

青年部部長 河田 雅彦

関東甲信越板金工業組合協議会青年部が創立20周年の迎えられるにあたり、全日本板金工業組合連合会並びに社団法人日本建築板金協会の青年部を代表いたしまして、心からお祝いを申し上げます。

バブル経済が崩壊し、デフレを要因とする不況にも見舞われ、まさに激動の時代の真只中にある現在、私たち建築板金業界も例外ではありません。

特にこの10年間は、“激変”といつても過言ではないのでしょうか。このような未曾有の経験の中、私たちを取り巻く環境が大きく変化していくのは、ある意味当然と言えるのかもしれません。

この時代の変化を的確に見極め、進むべき方向を見出していくことが、私たち青年部世代の役割であり、宿命でもあり、更には後に続く若い世代の人たちへの財産づくりにつながることだと考えています。

幸いにも、貴協議会青年部は、これらについて組織を挙げて取り組んでこられました。青年部の仲間として頼もしい限りです。今後においても、全国青年部と各組合青年部とのパイプ役としての重責を果たしていただきたいと思うところです。

最後になりますが、これまでの20年間で経験したことや、積み上げてきた実績やノウハウを、これから20年、そしてその先に続く未来へと最大限に發揮され、更なる前進をすることを期待し、そして確信をしてお祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞 「20周年記念に寄せて」

関東甲信越板金工業組合協議会青年部

二代部長 平野 光男

このたび、関東甲信越板金工業組合協議会青年部が20周年を迎えること、青年部出身の一員として心からお慶び申し上げます。

顧みますと、関東甲信越ブロック青年部初代会長に東京板金工業組合の曾根さんが就任、草津の「ホテル桜井」で第1回目の総会が開催され、その夜、板金業の将来について皆で語り合い盛り上がった事などが、まるで昨日のように思い出されます。

私は二代目部長として曾根会長から事業を引き継ぎ、また各県板の役員さんをはじめとする多くの仲間と出会うことが出来、板金業も世情の波に乗っていたこともあって、青年部活動がとても楽しい毎日がありました。今でも「黒羽スプリングの研修会」で板金業を通じて青年部活動に思う事を書き綴った参加者の熱い思いを読むと、大きな夢を抱いた若かりし頃の自分に帰ることができます。いろいろな魅力を持った仲間とも出会い、多くの楽しかった思い出が私の人生においての大きな財産になりました。

この度の20周年という節目は社会構造も大変革の時を迎え、前回（10周年）の節目とは活動の設定条件が大きく異なっております。この大きな節目に、これから若い人達が板金業の延長線上で活きて行けるのか、また、何をどうしたらよいのかを見つめる絶好の機会でもあるということが言えると思います。

私たちの時代は仕事に賭ける情熱さえあれば、生活を営み、多くの夢や希望を叶える事ができた時もありました。しかし、現在は仕事の位置付けが難しく、厳しい大競争時代の真っ只中であり、さらに追い打ちをかけるかのように地球環境の悪化による環境激変時代が到来し、昔ならば業界内部に関する行動範囲で充分な生活設計が実現出来たのに、……。

これからは「広く情報を求めて自分の物にする個人の努力」と、「自己の夢を叶える為の確固たる信念」、そして「実現のために架けなければならない努力と行動」は人並程度のものでは済みません。何時になっても自立できない業界は取り残されてしまいます。少しでも早く社会に向けて自ら発進する事が、夢の実現に近づく第1歩であるのです。これからの中年部活動は業界の常識程度の活動レベルでは、社会からは程遠い存在になってしまいます。親組合を遙かに凌ぐ力強い存在となり、「新時代の青年部の礎」を築いて頂きたいと思います。新たな期待を青年部諸君に託して私の言葉と致します。



祝 辞 「業界発展の一翼に」

関東甲信越板金工業組合協議会青年部

三代部長 石田 修巳

関東甲信越板金工業組合協議会青年部の創立20周年おめでとうございます。また、一つの節目にあたり、記念誌が発刊されたことを大変喜ばしく思います。

業界の発展と後継者育成のもと組織作りがなされ、その基本理念に他県との交流・事業経営の研究・技能技術の向上を目的に掲げ、ゴルフコンペ・経営研修会・技能競技大会予備講習会などの情報交換・連携を重視した事業活動の体系化をされた先輩方には、頭の下がる思いです。特に初代曾根部長、二代平野部長は青年部の発会からの方で、人一倍の活力と情熱で関東ブロック青年部が全国において、結束力が一番の組織に御尽力されました。その余勢を礎に私の任期中には全板連青年部事業の研究会・全国技能競技大会を二年連続で関東ブロックにて開催いたしました。開催地県板はもとよりブロック一丸となって御協力を頂き、盛大に挙行されましたことをお礼申上げると共に、関東ブロックの結束力の賜物と感謝する次第です。また山梨県での競技大会では技術コンクールの部も加わり、全板連青年部役員の他にブロック青年部役員も運営の一翼として携わって頂き、当時の関係者にはご苦労をおかけした思いがあります。あの当時の事をふり返りますと、現在の様な携帯電話・パソコンの普及は低く、ましてやメールなどない頃で、連絡は仕事現場近くの公衆電話から、また事業所に戻ってFAXにて、…今思うに「忙しかった」の一言と「人間一人では非力なれど多勢となれば岩をも動く」事業を遂行した達成感があり、何よりも自分自身仲間がふえたことが大いにプラスになっております。

さて、現在“平成不況”といわれる長引く景気低迷と業界においては組合員構成の高齢化、後継者・若手就労者の減少など様々な要因にて厳しい状況下にあります。しかし業界を守りかつ発展させねばなりません。次世代を担う青年部の皆さんの柔軟性・創造性が大いに期待される事となります。今後も情報交換・連携を重視した活動を進めて頂き、業界発展の一翼となられますよう期待いたします。



祝 辞

関東甲信越板金工業組合協議会青年部

四代部長 田中 仁

関東甲信越板金工業組合協議会青年部の創立二十周年に対して、心よりお祝い申し上げます。

昭和59年の創立から20年を迎えられました事は、各部県板の関係各位の皆様、また青年部員の皆様の御努力の賜であると思います。

思えば10年前、私が4代目の部長をさせて頂いた時に、10周年を迎えて、東京の雅叙園観光ホテルで、記念式典が開催された事を、昨日の事の様に思い出します。当時は、バブル崩壊の後、景気の落ち込みにより、板金業界も厳しい状況に追い込まれた頃でありました。しかし、それから10年、景気の回復は一向にみられず、我々の板金業界の中でも、廃業や転職など、益々、厳しい環境に立たされています。その様な中にあっても青年部の活動は、毎年の研究会、競技大会を欠かさず開催し、時代の変化に伴う事業の在り方、業界としての位置付けを明確にすべく、努力を重ねてきたと思います。また、その事が現在も事業の中に反映され、事業継承の大きな力になっていると思われます。

私が青年部を離れて7年が経ちましたが、現在、息子が青年部に加入して、一生懸命活動している姿を見るたびに、親子共々、青年部の中で皆様と共に活動した事が大きな力、また、支えになっている事は言うまでもありません。現在も建設業界を取り巻く環境は、厳しいものがありますが、青年部の若い力と、発想の転換で、この時代を切り拓いて行くことを願ってやみません。

そして、次の30周年を目指して、更なる発展をされる事を祈念し、お祝いの言葉と致します。



祝 辞

関東甲信越板金工業組合協議会青年部

五代部長 徳武 和芳

この度、関東甲信越板金工業組合協議会青年部が創立20周年を迎えたことを、心よりお祝い申し上げます。また、関東甲信越の役員として創立10周年記念式典を開催したものの一人として、現執行部の皆様のご苦労、ご努力に対し敬意を表すものであります。

振り返りますと、前任の田中部長から部長職を引き継いだのが、阪神淡路大震災による特需、通信関連の新規需要などで平成不況から脱出の兆しが見えてきた平成7年でした。

役員や地元青年部の方々のご協力の元、関東甲信越一円から多数のご参加を戴き、ゴルフコンペや研修会などを盛大に開催させていただいたことを昨日のことのように思い出されます。特に研修会でのカラーコーディネートや話し方教室などは今でも大変役立っていますし、横浜ベイスターズの田代さんの講演も普段直接お話しする機会のない方だけに興味深いものでした。

しかし、その在任中の4年間に消費税引き上げや金融危機、そして公共事業の歳出削減等々により、逆に不況はよりいっそう深いものになり、そのまま21世紀を迎えることになりました。

このような時代であるからこそ、日本の中心である関東甲信越ブロックの重要性はますます高まっていると思われます。この20年間で培ってきた経験を生かして全国の青年部を牽引していただき、ますます発展されることを祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。



祝 辞

関東甲信越板金工業組合協議会青年部

六代部長 野口 育男

関東甲信越板金工業組合協議会青年部の創立20周年を迎えるにあたり心よりお慶び申し上げますと共に、これまでの礎を築いて来られました歴代役員の皆様をはじめ、青年部活動を支えてきた関係各位のご活躍に深く敬意を表します。

20周年を迎えた今日、上場企業の業績は大幅に上向きとなっていますが私達の業界は依然、厳しい状況にあると思います。しかし、今の時代だからこそ存在価値が問われているのです。今の時代には、今の時代のやり方での存在価値があると思います。

常に青年として前進する為に苦を分かち合い、混沌とした時代を乗り越え、成長していく青年部に、期待しております。

私自身も関東ブロック青年部の部長をさせて頂いた頃が、大変懐かしく思い出します。

これからも関東ブロック青年部として、初心を忘れず、この20年の歴史に恥じる事なく、青年部を盛り上げ、そしてこの業界の中心となって頂きたいと思います。

結びに当たりまして、役員の皆様の日頃からの、ご尽力に感謝申し上げますと共に20周年を機に可能性へのチャレンジを期待し、益々ご発展されますことを心から祈念申し上げ、御祝いの言葉とさせて頂きます。

20周年記念誌協賛メーカー

(順不同)

社名	住所	TEL
クボタ松下電工外装株式会社 上信営業所	群馬県高崎市小八木町1519	027-361-5236
積水化学工業株式会社 関東営業所	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5	
ソニックスティビル28F		048-646-0165
株式会社 チューオー高崎営業所	群馬県群馬郡群馬町稻荷台262-1	027-372-1135
アサヒ金属株式会社	東京都足立区梅島1-14-11	03-3840-5301
日鉄鋼鉄株式会社	東京都江東区東陽7-5-8MLビル	03-5653-5124
株式会社 オーティス東京営業所	埼玉県川口市大字樺戸873-1	048-282-6671
タカヤマ金属工業株式会社	大阪府大阪市生野区巽中2-2-10	06-6757-9251
東邦シートフレーム株式会社	千葉県八千代市上高野1812	047-484-0100
アイジー工業株式会社	埼玉県さいたま市浦和区常盤10-15-16-6F	048-827-1127
株式会社 鎌倉製作所	東京都港区北青山2-7-11	03-3403-4311
日新工業株式会社 関東営業所	東京都足立区千住東2-23-4	03-3882-2623
株式会社 澤浦金物店	群馬県佐波郡境町大字上渕名1477-1	0270-76-0011
株式会社 ミヤマ	群馬県伊勢崎市上植木本町2717-2	0270-24-3701
山大鉄商株式会社	東京都目黒区駒場3-12-41	03-3460-3111
セキヤ機工株式会社	新潟県新津市滝谷町8-48	0250-24-5271
株式会社 富士機械	群馬県伊勢崎市田中町883-2	0270-26-1126
株式会社 昭和企画	愛知県稻沢市七ツ寺町70-4	0587-36-3271
株式会社 セキノ興産	東京都台東区元浅草4-7-17セキノビル4F	03-5828-2335
株式会社 長野セキノ興産	長野県長野市青木島町網島620	026-286-4071
銅市金属工業株式会社	栃木県小山市羽川466-1	0285-23-1515
株式会社 協和	東京都台東区上野7-12-13	03-3844-6196
株式会社 協和 長野支店	長野県長野市丹波島2-1-6	026-285-4171
株式会社 鶴屋金物店	茨城県龍ケ崎市砂町2799	0297-62-3344
アイノヤ建材有限会社	茨城県東茨城郡茨城町木部1835-2	029-240-7515
成井金物店	茨城県潮来市辻232-1	0299-62-3236
小西株式会社	茨城県結城市小田林立の山2591	0296-33-3161
秩父プラスチック工業株式会社 小山営業所	栃木県小山市大字栗宮1528	0285-45-4685
月星商事株式会社 土浦支店	茨城県土浦市中神立町3-3	029-831-8022
株式会社 カクイチ	長野県長野市高田五分一432	026-243-0650
株式会社 松田商会	長野県松本市大字笹賀3044	0263-58-0565
トステム株式会社 外装信越営業所	長野県長野市稻里町下氷鉤1-9-4	026-254-7188
稻垣商事株式会社	東京都千代田区神田和泉町1番地1	03-3863-0351
株式会社 ニワノ	前橋市文京町2-26-2	027-221-1811
株式会社 マドック	大阪府大阪市浪速区日本橋西1-3-19南海日本橋ビル1F	06-6630-0150
株式会社 宇都宮セキノ興産 熊谷営業所	埼玉県熊谷市新堀175-6	048-532-1216
株式会社 関東セキノ 前橋店営業所	群馬県前橋市総社町2117-3	027-251-5281
株式会社 東鋼スチール	群馬県佐波郡東村大字東小保方3497-1	0270-62-3583
元旦ビューティ工業株式会社	神奈川県藤沢市湘南台1-1-21	0466-45-8771
武田商事 株式会社	長野県松本市深志3-4-17	0263-32-3334
株式会社 金子九三郎商店	新潟県新井市中町4-12	0255-72-3258
株式会社 栗原金商	新潟県上越市高土町1-10-5	025-524-7175
株式会社 サトコウ建材分社	新潟県中頸城郡三和村野6265-1	025-532-4888
綿半インテック株式会社	長野県飯田市北方1023-1	0265-25-8120
株式会社 ダイムワカイ	東京都千代田区内神田2-6-6	03-5256-5060
株式会社 藤田兼三工業	神奈川県横浜市鶴見区駒岡2-17-26	045-583-8666
三晃金属工業株式会社 成型品販売グループ	東京都港区芝浦4-13-23 MS芝浦ビル	03-5446-5609
有限会社 ザムシステムサービス	千葉県千葉市中央区千葉港4-3千葉県経営者会館5F	043-247-3930
住友金属建材株式会社 関東支店	埼玉県入間郡大井町字武藏野1269-1	049-264-1551
株式会社 タニタハウジングウェア	東京都板橋区坂下2-8-1	03-3968-1141
片山鉄建株式会社	千葉県松戸市上本郷170	047-369-2211
アキレス株式会社	東京都 新宿区 大京町22番地	03-5379-4527
小池弥太郎商店	静岡県静岡市流通センター16	054-263-2280
株式会社 直徳	埼玉県鴻巣市天神4-5-40	048-541-0508
株式会社 中七 北関東営業所	群馬県新田郡藪塚本町大原上西2383-1	0277-78-6191

年度事業內容

平成6年～15年度

平成6年度 (1994/4~1995/3)

事業内容

開催日	内 容	会 場
平成6年4月17日	関東甲信越ブロック青年部OB会設立総会	東京都 東京シティエアターミナル
平成6年6月3日	第11回関東甲信越青年部通常総会	東京都 板金会館
平成6年6月8日・9日	第26回関東甲信越ブロック総会	群馬県 ホテル磯辺ガーデン
平成6年6月27日	第19回全板連青年部通常総会	東京都 板金会館
平成6年7月10日	第1回幹事会	山梨県 ホテル石庭
平成6年7月10日・11日	第10回関東甲信越青年部ゴルフコンペ	山梨県 境川カントリークラブ
平成6年9月16日・17日	第15回全板連青年部あすなろ研究会	青森県 ホテル青森
平成6年8月27日	第2回幹事会	東京都 板金会館
平成6年10月23日	第3回幹事会	栃木県 塩原温泉 ホテルニュー塩原
平成6年10月23日・24日	第10回関東甲信越青年部研修会	栃木県 塩原温泉 ホテルニュー塩原
平成7年1月22日	第4回幹事会	東京都 板金会館
平成7年1月22日	全国建築板金競技大会予備講習会	東京都 板金会館
平成7年2月17日・18日	全国建築板金競技大会第17回技能競技の部	熊本県 熊本市 職業訓練センター
平成7年2月17日・18日	全国建築板金競技大会第5回建築技術の部	熊本県 熊本市 職業訓練センター
平成7年3月25日	第5回幹事会	東京都 板金会館

関東甲信越役員		所属都県板	
部 長(全板副部長)	田中 仁	山 梨	
副部長(全板監事)	徳武 和芳	長 野	
副部長(全板幹事)	野溝 年成	茨 城	
会 計	岩室 久夫	栃 木	
監 事	畠山 輝男	東 京	
幹 事	見川 和明	埼 玉	
幹 事	中村 和利	千 葉	
幹 事	伊佐 正平	新 潟	
幹 事	桑原 敏彦	群 馬	
幹 事	萩原 繁夫	神奈川	

青年部長		所属都県板	
野溝 年成	茨 城		
阿久 津勉	栃 木		
勝田 清	群 馬		
野口 育男	埼 玉		
中村 和利	千 葉		
伊藤 成美	東 京		
萩原 繁夫	神奈川		
武井 博	山 梨		
宮沢今朝男	長 野		
伊佐 正平	新 潟		

主な出来事

- 関東甲信越ブロック青年部OB会が設立された。会長に埼玉県板の平野光男氏が就任、都内「東京シティエアターミナル」にて設立総会を開催した。
- 山梨県板青年部主幹で「境川カントリークラブ」にて関東甲信越青年部ブロックゴルフコンペを開催した、参加者82名で盛況に行なった。団体優勝は長野県 個人優勝・歌川喜久雄氏(神奈川)2位・監物光氏(神奈川)3位・井上久行氏(山梨)
- 栃木県青年部主幹で塩原温泉「ホテルニュー塩原」にて関東甲信越青年部ブロック研修会を開催した。青年部参加160名、OB会13名、メーカー12社22名、来賓7名が参加し一日目はテーマ別討論会 A:保証制度について B:月給制の取り組み C:新規事業の拡大 D:現場作業の創意工夫 E:福利厚生 F:女性の参加をいかに進めるか G:時短の進め方 H:優秀な人材の確保定着 8グループにわかれ真摯に意見が交わされた。二日目には「板金業の将来の展望」と題し建設業全体の今後と女性雇用の進め方について小出亨氏の講演があった。
- 茨城県板青年部10周年式典が平成7年1月20日に茨城県「センチュリープラザNAKA」にて開催された。
- 東京都板金工業組合青年部20周年式典が平成7年3月21日東京都「池之端文化センター」にて開催された。
- 青森県板青年部主幹で全板連青年部あすなろ研究会を青森県青森市「ホテル青森」にて開催した。寸劇「技能の星 大介」長野県板にて労働力確保推進事業として発刊された漫画をもとに演出脚本したもの。グループ討論会では寸劇を題材にした討論を行なった。
- 全板連/日板協青年部全国建築板金競技大会が熊本県熊本市「職業訓練センター」で開催された。関東甲信越ブロックから10名参加し、技能競技の部ZICで長野県板・斎藤高志氏が第2位、茨城県板・小澤栄氏が第7位と入賞した、建築技術の部NYACでは埼玉県板の新井勇司氏が第2位、長野県板の村山聰氏が第4位と入賞し同じく活躍を見せました。
- 第46回全国板金業者大会が福井県「福井産業会館」にて開催された。

平成7年度 (1995/4~1996/3)

事業内容

開催日	内 容	会 場
平成7年6月3日	第12回関東甲信越青年部通常総会	東京都 板金会館
平成7年6月8日・9日	第27回関東甲信越ブロック総会	山梨県 石和温泉 ホテル石庭
平成7年6月13日	第20回全板連青年部通常総会	東京都 キャピトル東急ホテル
平成7年6月13日	全板連青年部創立20周年記念式典	東京都 キャピトル東急ホテル
平成7年7月16日	第1回幹事会	群馬県 伊香保グランドホテル
平成7年7月16日・17日	第11回関東甲信越青年部ゴルフコンペ	群馬県 伊香保ゴルフ俱楽部
平成7年9月17日・18日	第16回全板連青年部あすなろ研究会	岐阜県 岐阜市 岐阜グランドホテル
平成7年10月4日	第2回幹事会	東京都 板金会館
平成7年10月29日	第3回幹事会	東京都 雅叙園観光ホテル
平成7年10月29日・30日	第11回関東甲信越青年部研修会	東京都 雅叙園観光ホテル
平成8年1月21日	第4回幹事会	東京都 板金会館
平成8年1月21日	全国建築板金競技大会予備講習会	東京都 板金会館
平成8年2月23日・24日	全国建築板金競技大会第18回技能競技の部	茨城県 水戸市 ポリテクカレッジ茨城
平成8年2月23日・24日	全国建築板金競技大会第6回建築技術の部	茨城県 水戸市 ポリテクカレッジ茨城
平成8年4月4日	第5回幹事会	東京都 板金会館

関東甲信越役員	所属都県板	青年部長	所属都県板	
部長(全板幹事)	徳武 和芳	長野	園部 良男	茨城
副部長(全板部長)	野溝 年成	茨城	山菅 直己	栃木
副部長(全板監事)	萩原 繁夫	神奈川	勝田 清	群馬
会計	見川 和明	埼玉	野口 育男	埼玉
監事	武井 博	山梨	草野 英明	千葉
幹事	桑原 敏彦	群馬	石田 修巳	東京
幹事	伊藤 成美	東京	指旗 則治	神奈川
幹事	伊平 雅夫	新潟	武井 博	山梨
幹事	中村 和利	千葉	庄田 淳一	長野
幹事	高嶋 利昭	栃木	田中 行雄	新潟

主な出来事

- 埼玉県板青年部が主幹で群馬県の「伊香保カントリー」にて関東甲信越青年部ブロックゴルフコンペを開催した、参加者も100名を超え盛況に終了した、長野県板が団体優勝した。個人優勝は井野富夫氏(群馬)、第2位・児玉正男氏(新潟)、第3位・栗山作美氏(千葉)でした。
- 東京都板青年部主幹で都内「雅叙園観光ホテル」にて関東甲信越青年部ブロック研修会を開催した、青年部参加者も多く100名以上、「PL法と保証制度」「施工管理技師の重要性」「建設産業政策大綱」などの講演を開催し、将来を担う青年部員は熱心に研修会に取り組んだ。
- 岐阜県板青年部主幹で全板連青年部あすなろ研究会を岐阜県岐阜市の「岐阜グランドホテル」にて開催した、「人づくり」と言うテーマで様々な角度からの講演がありました。
- 全板連/日板協青年部全国建築板金競技大会が茨城県水戸市「ポリテクカレッジ茨城」で開催された、関東甲信越ブロックからは、建築技術の部NYACで埼玉県板・新井勇司氏が第2位、群馬県板・小林茂氏が第3位、神奈川県板・玉田恵二氏が第5位と大健闘した。
- 全板連/日板協青年部創立20周年記念式典が、全板連/日板協青年部第20回通常総会と共に東京の「キャピトル東急ホテル」にて、各都府県板理事長を初め多くの参加者で挙行されました。
- 第47回全国板金業者大会が秋田県秋田市の「秋田市立体育館」で開催されました。

平成8年度 (1996/4~1997/3)

事業内容

開催日	内 容	会 場
平成8年6月1日	第13回関東甲信越青年部通常総会	東京都 板金会館
平成8年6月6日	第28回関東甲信越ブロック総会	東京都 日暮里ホテルラングウッド
平成8年6月27日	第21回全板連青年部通常総会	東京都 九段会館
平成8年7月7日	第1回幹事会	千葉県 ホテル三日月
平成8年7月7日・8日	第12回関東甲信越青年部ゴルフコンペ	千葉県 香木原カントリークラブ
平成8年9月8日・9日	第17回全板連青年部あすなろ研究会	奈良県 奈良プラザホテル
平成8年9月1日・2日	第2回幹事会	静岡県 土肥温泉 桂川シーサイドホテル
平成8年10月27日	第3回幹事会	静岡県 土肥温泉 桂川シーサイドホテル
平成8年10月27日・28日	第12回関東甲信越青年部研修会	静岡県 土肥温泉 桂川シーサイドホテル
平成8年12月5日	全板連創立30周年記念式典	東京都 キャピタル東急ホテル
平成9年1月19日	第4回幹事会	神奈川県 横浜市・寿宴
平成9年1月19日	全国建築板金競技大会予備講習会	神奈川県 横浜市・寿宴
平成9年2月12日・13日	全国建築板金競技大会第19回技能競技の部	福島県 郡山市 豊栄グランドホテル
平成9年2月12日・13日	全国建築板金競技大会第7回建築技術の部	福島県 郡山市 豊栄グランドホテル
平成9年3月26日	第5回幹事会	東京都 板金会館

関東甲信越役員		所属都県板	
部 長(全板幹事)	徳武 和芳	長 野	
副部長(全板部長)	野溝 年成	茨 城	
副部長(全板監事)	萩原 繁夫	神奈川	
会 計	見川 和明	埼 玉	
監 事	武井 博	山 梨	
幹 事	桑原 敏彦	群 馬	
幹 事	伊藤 成美	東 京	
幹 事	高嶋 利明	栃 木	
幹 事	伊平 雅夫	新 潟	
幹 事	中村 和利	千 葉	

青年部長		所属都県板	
園部 良男	茨 城		
山菅 真己	栃 木		
勝田 清	群 馬		
野口 育男	埼 玉		
草野 英明	千 葉		
石田 修巳	東 京		
指旗 則治	神奈川		
武井 博	山 梨		
庄田 淳一	長 野		
田中 行雄	新 潟		

主な出来事

- 千葉県板青年部が主幹で千葉県の「香木原カントリークラブ」で関東甲信越青年部ブロックゴルフコンペを開催した、参加者も89名で盛況に終了した、長野県板が団体優勝した。個人では優勝は見川和明氏（埼玉）2位・庄田淳一氏（長野）3位・梨本正雄氏（長野）であった。
- 奈良県板青年部主幹で全板連青年部あすなろ研究会を奈良県天理市の「奈良プラザホテル」にて開催した、「経営と雇用の改善について」を言うテーマで講演があり、グループ別の討論会で熱心に討論がされました。
- 全板連/日板協青年部全国建築板金競技大会が福島県郡山市の「豊栄グランドホテル」で開催された、関東甲信越ブロックからは、建築技術の部NYACで群馬県板・小林茂氏が優勝し大活躍しました
- 第48回全国板金業者大会が滋賀県大津市の「大津プリンスホテル」にて開催されました。

平成9年度 (1997/4~1998/3)

事業内容

開催日	内 容	会 場
平成9年5月31日	第14回関東甲信越青年部通常総会	東京都 板金会館
平成9年6月11日	第29回関東甲信越ブロック総会	長野県 上山田温泉 ホテル清風園
平成9年6月27日	第22回全板連青年部通常総会	東京都 九段会館
平成9年7月6日	第1回幹事会	栃木県 鬼怒川ホテルサンシャイン
平成9年7月6日・7日	第13回関東甲信越青年部ゴルフコンペ	栃木県 鬼怒川森林カントリークラブ
平成9年9月3日	第2回幹事会	東京都 板金会館
平成9年9月28日・29日	第18回全板連青年部あすなろ研究会	愛媛県 松山市 道後プリンスホテル
平成9年10月19日	第3回幹事会	山梨県 石和温泉 ホテル石庭
平成9年10月19日・20日	第13回関東甲信越青年部研修会	山梨県 石和温泉 ホテル石庭
平成10年1月25日	第4回幹事会	東京都 板金会館
平成10年1月25日	全国建築板金競技大会予備講習会	東京都 板金会館
平成10年1月25日	激励会及び新年会	東京都 賑岐会館
平成10年2月17日・18日	全国建築板金競技大会第20回技能競技の部	静岡県 静岡市 ポリテクセンター静岡
平成10年2月17日・18日	全国建築板金競技大会第8回建築技術の部	静岡県 静岡市 ポリテクセンター静岡
平成10年3月25日	第5回幹事会	東京都 板金会館

関東甲信越役員	所属都県板
部長(全板幹事) 徳武 和芳	長野
副部長(全板部長) 野溝 年成	茨城
副部長(全板監事) 萩原 繁夫	神奈川
会計 野口 育男	埼玉
監事 小林 茂	群馬
幹事 土岐 宣之	東京
幹事 山菅 直己	栃木
幹事 原 譲	山梨
幹事 山本 博司	新潟
幹事 中村 俊行	千葉

青年部長	所属都県板
益子 茂	茨城
沼尾 幸一	栃木
井野 富夫	群馬
戸井田 章	埼玉
草野 英明	千葉
堀江 岳	東京
指旗 則治	神奈川
原 譲	山梨
池上 敬造	長野
中澤 和明	新潟

主な出来事

- 栃木県板青年部が主幹で栃木県の「鬼怒川森林CC」で関東甲信越青年部ブロックゴルフコンペを開催した、参加者90名を超えた盛況に終了した、地元栃木県板が団体優勝した。個人では優勝は金子金雄氏(千葉)2位・益子茂氏(茨城)3位・伊平雅夫氏(新潟)であった。
- 山梨県板青年部主幹で石和温泉「ホテル石庭」にて関東甲信越青年部ブロック研修会を開催した。青年部参加者も多く130名以上、「建設産業の動向と板金工事業青年経営者の使命」と題し、一ノ瀬裕幸氏(中小企業診断士)の講演を聴いた。「現在から21世紀へ」のテーマで分科会を行った。「イメージアップのためのカラー戦略」と題し、今泉恵美子(株)クオレ・コーポレーション)講師による講演を聴いた。
- 愛知県板青年部主幹で全板連青年部あすなろ研究会を愛媛県松山市の「道後プリンスホテル」にて開催した。「責任施工制度」について基本的な考え方・仕組みと役割・取り組み方法と役割・運営事例と講演を聴いた。その講演に伴う分科会を開催した。
- 全板連/日板協青年部全国建築板金競技大会が静岡県静岡市「ポリテクセンター静岡」で開催された。関東甲信越ブロックからは、建築技術の部NYACで茨城県板・助川啓一氏が優勝、群馬県板・久保田敏之氏が第3位、技能競技の部ZICで長野県板・寺下博基氏が第4位と大健闘した。
- 関東甲信越青年部の年齢制限が45才に決まる。
- 関東甲信越青年部会員の名簿作成を行いました。
- 第49回全国板金業者大会が群馬県前橋市の「グリーンドーム前橋」で開催されました。
- 東京都板金工業組合創立30周年記念式典が都内・新宿「コマ劇場」で挙行、2300人が参加した。

平成10年度 (1998/4~1999/3)

事業内容

開催日	内 容	会 場
平成10年5月30日	第15回関東甲信越青年部通常総会	東京都 讃岐会館
平成10年6月24日	第23回全板連青年部通常総会	東京都 九段会館
平成10年6月16日	第30回関東甲信越ブロック総会	埼玉県 熊谷市 熊谷ホテルガーデンパレス
平成10年7月5日	第1回幹事会・部長連絡会議	群馬県 ホテル磯部ガーデン
平成10年7月5日・6日	第14回関東甲信越青年部ゴルフコンペ	群馬県 プレスカントリークラブ
平成10年9月4日	第2回幹事会	東京都 板金会館
平成10年9月20日・21日	第19回全板連青年部あすなろ研究会	大分県 別府市 杉乃井ホテル
平成10年10月25日	第3回幹事会・部長連絡会議	茨城県 大洗町 茨交大洗ホテル
平成10年10月25日・26日	第14回関東甲信越青年部研修会	茨城県 大洗町 茨交大洗ホテル
平成11年1月24日	第4回幹事会	東京都 讃岐会館
平成11年1月24日	全国建築板金競技大会予備講習会	東京都 讃岐会館
平成11年2月17日・18日	全国建築板金競技大会第21回技能競技の部	鳥取県 鳥取市 ポリテクセンター鳥取
平成11年2月17日・18日	全国建築板金競技大会第9回建築技術の部	鳥取県 鳥取市 ポリテクセンター鳥取
平成11年3月24日	第5回幹事会	東京都 板金会館

関東甲信越役員		所属都県板	
部 長(全板幹事)	徳武 和芳	長 野	
副部長(全板部長)	野溝 年成	茨 城	
副部長(全板監事)	萩原 繁夫	神奈川	
会 計	野口 育男	埼 玉	
監 事	小林 茂	群 馬	
幹 事	土岐 宣之	東 京	
幹 事	山菅 直己	栃 木	
幹 事	原 譲	山 梨	
幹 事	徳武 和芳	長 野	
幹 事	山本 博司	新 潟	

青年部長		所属都県板	
益子 茂	茨 城		
沼尾 幸一	栃 木		
高橋 茂	群 馬		
戸井田 章	埼 玉		
草野 英明	千葉県		
堀江 岳	東 京		
山岸 節夫	神奈川		
原 譲	山 梨		
池上 敬造	長 野		
中澤 和明	新 潟		

主な出来事

- 茨城県板青年部主幹で茨城県大洗町の「茨交大洗ホテル」にて関東甲信越青年部ブロック研修会を開催した、参加者も120名と多く各都県板青年部員が、テーマの「住宅リフォーム事業の取り組みと問題点」講演と分科会、「接客の身だしなみ」などの講演を開催し、21世紀にむかっての板金業界が進むべき道を見いだすために、研修会に取り組んだ。
- 群馬県板青年部が主幹で群馬県の「プレスカントリークラブ」にて関東甲信越青年部ブロックゴルフコンペを開催した、参加者も110名を超えた盛況に終了した、長野県板が団体優勝した。また個人優勝は市川智氏（栃木）、2位・池上敬造氏（長野）、3位・石原力平氏（長野）の順位であった。
- 大分県板青年部主幹で全板連青年部あすなろ研究会を大分県別府市の「ホテル杉の井」にて開催、九州と遠方ではあったが参加者も200名に達し、講演「21世紀一生き残るため」体験学習「板金業生き残りゲーム」グループ討論会と全国の青年部員が熱心にテーマに取り組んだ。
- 全国建築板金競技大会の関東甲信越ブロック予備講習会と参加選手の激励会及び新年会を開催した、参加選手は課題について熱心に取り組み又激励会では上位入賞を誓った。
- 第21回全国建築板金競技大会が鳥取県鳥取市の「ポリテクセンター鳥取」にて開催され関東甲信越ブロックから12名が参加した、建築技術の部NYACで群馬県板・桑原敏彦氏が第2位、木村 治氏が第10位と上位入賞し活躍を見せた。
- 第50回全国板金業者大会が熊本県の「グランメッセ熊本」で開催されました。

平成11年度 (1999/4~2000/3)

事業内容

開催日	内 容	会 場
平成11年5月29日	第16回関東甲信越青年部通常総会	東京都 讃岐会館
平成11年6月8日	第31回関東甲信越ブロック総会	栃木県 日光市 ホテル千姫物語
平成11年6月18日	第24回全板連青年部通常総会	東京都 メルパルクTOKYO
平成11年7月4日	第1回幹事会・部長会	長野県 諏訪湖の森グリーンホテル
平成11年7月4日・5日	第15回関東甲信越青年部ゴルフコンペ	長野県 諏訪湖カントリークラブ
平成11年8月20日	第2回幹事会	東京都 板金会館
平成11年9月12日・13日	第20回全板連青年部あすなろ研究会	千葉県 幕張市 ホテルグリーンタワー幕張
平成11年10月20日	第3回幹事会	東京都 板金会館
平成12年1月29日	第4回幹事会・部長会	東京都 讃岐会館
平成12年1月29日	全国建築板金競技大会予備講習会	東京都 板金会館
平成12年2月16日・17日	全国建築板金競技大会第22回技能競技の部	高知県 高知市 高知地域職業訓練センター
平成12年2月16日・17日	全国建築板金競技大会第10回建築技術の部	高知県 高知市 高知地域職業訓練センター
平成12年3月22日	第5回幹事会・部長会	東京都 板金会館
平成12年4月18日	第6回幹事会・部長会	東京都 板金会館

関東甲信越役員	所属都県板
部長(全板幹事) 野口 育男	埼玉
副部長(全板部長) 野溝 年成	茨城
副部長(全板監事) 森腰 淳	長野
会計 中村 俊行	千葉
監事 指旗 規治	神奈川
幹事 梶野 正之	東京
幹事 木村 治	群馬
幹事 功刀 豊彦	山梨
幹事 沼尾 幸一	栃木
幹事 塚原 祐康	新潟

青年部長	所属都県板
小澤 栄	茨城
中沢 裕	栃木
松田 和彦	群馬
神田 敬文	埼玉
草野 英明	千葉
堀江 岳	東京
山岸 節夫	神奈川
渡辺 和雄	山梨
池上 敬造	長野
齊藤 達雄	新潟

主な出来事

- 長野県板青年部が主幹で長野県の「諏訪湖カントリークラブ」で関東甲信越青年部ブロックゴルフコンペを開催した、参加者も110名を超えた盛況に終了した、長野県板が団体優勝した。また個人優勝は池田重喜氏（長野）、2位・池上敬造氏（長野）、3位・益子茂氏（茨城）の順位であった。
- 千葉県板青年部設営協力・主幹のもと千葉県幕張市「グリーンタワー幕張」にて第20回全板連青年部あすなろ研究会を開催した。全国規模と言う事もあり、231名の参加者が集まった。テーマとして、「業界の新しいネットワークの構築」「パソコン活用法」という題材での講演を頂き、それぞれのスキルごとに分かれパソコンの操作を学んだ。懇親会では、bingoゲーム選抜、椅子取りゲームで大いに盛り上がった。なお、全板連青年部あすなろ研究会の開催にあたり、関東甲信越青年部ブロック研修会を同時開催し、関東甲信越ブロック青年部からも多数参加致しました。
- 全板連/日板協青年部全国建築板金競技大会が高知県高知市「高知地域職業訓練センター」で開催された。関東甲信越ブロックからは、建築技術の部NYACで群馬県板・桑原敏彦氏が優勝と大健闘した。また第1回から各都道府県板持ち回りで開催してきた技能競技大会も今回を最後に静岡県富士宮市で固定開催へ推移する。
- 第51回全国板金業者大会が岐阜県岐阜市の「岐阜メモリアルセンター」で開催されました。

平成12年度 (2000/4~2001/3)

事業内容

開催日	内 容	会 場
平成12年5月16日	第32回関東甲信越ブロック総会	新潟県 柏崎市 「ザ・ホテルシーポート」
平成12年5月20日	第17回関東甲信越青年部通常総会	東京都 東京芝青年会館
平成12年6月16日・17日	第1回全国青年部長会議	東京都 全日電工連会館・駐健保会館
平成12年6月17日	第25回全板連青年部通常総会	東京都 駐健保会館
平成12年7月9日	第1回幹事会・部長会	福島県 小名浜スプリングスホテル
平成12年7月9日・10日	第16回関東甲信越青年部ゴルフコンペ	福島県 小名浜スプリングスゴルフクラブ
平成12年8月26日	第2回幹事会	東京都 板金会館
平成12年9月22日・23日	第21回全板連青年部あすなろ研究会	岩手県 盛岡市 ホテルニューカリーナ
平成12年10月22日	第3回幹事会・部長会	新潟県 湯沢町 NASPAニューオータニ
平成12年10月22日・23日	第15回関東甲信越青年部研修会	新潟県 湯沢町 NASPAニューオータニ
平成12年12月27日	第4回幹事会	東京都 板金会館
平成13年1月28日	第5回幹事会・部長会	東京都 板金会館
平成13年1月28日	全国建築板金競技大会予備講習会	東京都 板金会館
平成13年2月10日・11日	全国建築板金競技大会第23回技能競技の部	静岡県 富士宮市 富士教育訓練センター
平成13年2月10日・11日	全国建築板金競技大会第11回建築技術の部	静岡県 富士宮市 富士教育訓練センター
平成13年3月10日	第6回幹事会	東京都 板金会館
平成13年4月14日	第7回幹事会	東京都 板金会館

関東甲信越役員		所属都県板	
部 長(全板幹事)	野口 育男	埼 玉	
副部長(全板部長)	野溝 年成	茨 城	
副部長(全板監事)	森腰 淳	長 野	
会 計	中村 俊行	千 葉	
監 事	指旗 規治	神奈川	
幹 事	梶野 正之	東 京	
幹 事	木村 治	群 馬	
幹 事	功刀 豊彦	山 梨	
幹 事	沼尾 幸一	栃 木	
幹 事	塚原 祐康	新 潟	

青年部長		所属都県板	
小澤 栄	茨 城		
中沢 裕	栃 木		
松田 和彦	群 馬		
神田 敬文	埼 玉		
青木 勉	千 葉		
堀江 岳	東 京		
山岸 節夫	神奈川		
渡辺 和雄	山 梨		
池上 敬造	長 野		
斎藤 達雄	新 潟		

主な出来事

- 茨城県板青年部が主幹で福島県の「小名浜スプリングスゴルフクラブ」で関東甲信越青年部ブロックゴルフコンペを開催した、参加者も80名で盛況に終了した。栃木県板が団体優勝した。また個人優勝は梨本正雄氏（長野）、2位・小林孝行氏（栃木）、3位・吉沢隆夫氏（栃木）であった。
- 岩手県板青年部主幹で全板連青年部あすなろ研究会を岩手県盛岡市「ホテルニューカリーナ」にて開催された。テーマ別講演・分科会を開催し青年部員は熱心に取り組んだ。
- 新潟県板青年部主幹で新潟県湯沢町「NASPAニューオータニ」にて関東甲信越青年部ブロック研修会を開催した。参加者100名以上、田中直樹氏講演「国税について」三条市内のさしがねメーカーによる公演・八海山酒造による利き酒実演を開催し、将来を担う青年部員は熱心に研修会に取り組んだ。
- 全板連/日板協青年部全国建築板金競技大会が静岡県富士教育訓練センターで開催された。関東甲信越ブロックからは、建築技術の部NYACで群馬県板・桑原勝則氏が優勝と活躍し兄弟で2年連続連覇を達成されました、技能競技の部ZICでは千葉県板・豊田敏夫氏が第3位・長野県板・野崎慎一氏が第5位と大健闘した。
- 第52回全国板金業者大会が神奈川県横浜市の「パシフィコ横浜」で開催されました。

平成13年度 (2001/4~2002/3)

事業内容

開催日	内 容	会 場
平成13年5月19日	第18回関東甲信越青年部通常総会	東京都 板金会館
平成13年6月4・5日	第33回関東甲信越ブロック総会	千葉県 鴨川市 鴨川グランドホテル
平成13年6月23日・24日	第2回全国青年部長会議	長野県 長野市 ビッグハット
平成13年6月24日	第26回全板連青年部通常総会	長野県 長野市 ビッグハット
平成13年7月1日	第1回幹事会・部長会	埼玉県 熊谷市 熊谷ガーデンパレス
平成13年7月1日・2日	第16回関東甲信越青年部研修会	埼玉県 熊谷市 熊谷ガーデンパレス
平成13年8月26日	第2回幹事会	東京都 板金会館
平成13年9月9日・10日	第22回全板連青年部あすなろ研究会	石川県 七尾市 ホテルのと楽
平成13年10月21日	第3回幹事会・部長会	新潟県 妙高村 妙高サンシャインホテル
平成13年10月21日・22日	第17回関東甲信越青年部ゴルフコンペ	新潟県 妙高村 妙高サンシャインGC
平成13年11月23日	第4回幹事会	東京都 板金会館
平成14年1月19日	第5回幹事会・部長会	東京都 板金会館
平成14年1月19日	全国建築板金競技大会予備講習会	東京都 板金会館
平成14年2月9日・10日	全国建築板金競技大会第24回技能競技の部	静岡県 富士宮市 富士教育訓練センター
平成14年2月9日・10日	全国建築板金競技大会第12回建築技術の部	静岡県 富士宮市 富士教育訓練センター
平成14年3月22日	第6回幹事会	東京都 板金会館
平成14年5月25日	第7回幹事会	東京都 板金会館

関東甲信越役員		所属都県板	
部 長(全板副部長)	野口 育男	埼 玉	
副部長	中沢 裕	栃 木	
副部長	森腰 淳	長 野	
会 計	小澤 栄	茨 城	
監 事	山岸 節夫	神奈川	
幹 事	大江 一郎	東 京	
幹 事	木村 治	群 馬	
幹 事	加藤 千二	山 梨	
幹 事	山田 英夫	千 葉	
幹 事(全板監事)	本多 聰	新 潟	

青年部長		所属都県板	
小澤 栄	茨 城		
齊藤 黙	栃 木		
桑原 俊彦	群 馬		
新井 勇司	埼 玉		
青木 勉	千 葉		
新倉 正光	東 京		
玉田 恵二	神奈川		
保坂 豊宏	山 梨		
池上 敬造	長 野		
丸山 雄治	新 潟		

主な出来事

- 埼玉県板青年部主幹で埼玉県熊谷市「熊谷ガーデンパレス」にて関東甲信越青年部ブロック研修会を開催した。参加者89名で「素質論」を2日間にわたり行った。将来を担う青年部員は熱心に研修会に取り組んだ。
- 石川県板青年部主幹で全板連青年部あすなろ研究会を石川県七尾市ホテル「のと楽」にて開催された。
- 長野県板青年部が主幹で新潟県の「妙高サンシャインゴルフクラブ」で関東甲信越青年部ブロックゴルフコンペを開催した、参加者も74名で盛況に終了した。長野県板が団体優勝した。また個人優勝は清水邦彦氏(新潟)、2位・山宮剛氏(新潟)、3位・梨本正雄氏(長野)であった。
- 全板連/日板協青年部全国建築板金競技大会が静岡県富士宮市「富士教育訓練センター」で開催された。関東甲信越ブロックからは、建築技術の部NYACで新潟県板・川上賢氏が第2位、群馬県板・亀井裕和氏が第9位と入賞、また技能競技の部ZICでは長野県板・前沢正之氏が第10位と入賞を果たした。
- 第53回全国板金業者大会が兵庫県神戸市の「神戸国際展示場」で開催されました。

平成14年度 (2002/4~2003/3)

事業内容

開催日	内 容	会 場
平成14年5月25日	第19回関東甲信越青年部通常総会	東京都 板金会館
平成14年6月5・6日	第34回関東甲信越ブロック総会	神奈川県 箱根町 「吉池」
平成14年6月22日	第3回全国青年部長会議	東京都 晴海グランドホテル
平成14年6月22日	第27回全板連青年部通常総会	東京都 晴海グランドホテル
平成14年7月6日	第1回幹事会・部長会	群馬県 桐生市 ホテルきのこの森
平成14年7月6日・7日	第17回関東甲信越青年部研修会	群馬県 桐生市 ホテルきのこの森
平成14年9月8日・9日	第23回全板連青年部あすなろ研究会	滋賀県 大津市 大津プリンスホテル
平成14年9月28日	第2回幹事会	東京都 板金会館
平成14年10月20日	第3回幹事会・部長会	群馬県 伊香保町 ホテル小暮
平成14年10月20日・21日	第18回関東甲信越青年部ゴルフコンペ	群馬県 渋川市 渋川カントリークラブ
平成14年12月3日	第4回幹事会	東京都 板金会館
平成15年1月19日	第5回幹事会・部長会	東京都 板金会館
平成15年1月19日	全国建築板金競技大会予備講習会	東京都 板金会館
平成15年2月8日・9日	全国建築板金競技大会第25回技能競技の部	静岡県 富士宮市 富士教育訓練センター
平成15年2月8日・9日	全国建築板金競技大会第13回建築技術の部	静岡県 富士宮市 富士教育訓練センター
平成15年3月2日	第6回幹事会	東京都 板金会館
平成15年5月24日	第7回幹事会	東京都 駐健保会館

関東甲信越役員		所属都県板	
部 長(全板副部長)	野口 育男	埼 玉	
副部長	中沢 裕	栃 木	
副部長	大江 一郎	東 京	
会 計	小澤 栄	茨 城	
監 事	山岸 節夫	神奈川	
幹 事	池上 敬造	長 野	
幹 事	木村 治	群 馬	
幹 事	加藤 千二	山 梨	
幹 事	山田 英夫	千 葉	
幹 事(全板幹事)	本多 聰	新 潟	

青年部長		所属都県板	
小澤 栄	茨 城		
斎藤 熱	栃 木		
桑原 俊彦	群 馬		
新井 勇司	埼 玉		
青木 勉	千 葉		
新倉 正光	東 京		
玉田 恵二	神奈川		
保坂 豊宏	山 梨		
池上 敬造	長 野		
丸山 雄治	新 潟		

主な出来事

- 群馬県板青年部主幹で群馬県桐生市「ホテルきのこの森」にて第17回関東甲信越青年部ブロック研修会を開催した。参加者83名で講演「体の健康」「IT（インターネット・iモード）を活用しませんか」の内容で2日間にわたり開催した。参加した青年部員は熱心に研修会に取り組んだ。
- 滋賀県板青年部主幹で全板連青年部あすなろ研究会を滋賀県大津市「大津プリンスホテル」にて開催された。全板連、日板協の概要・活動内容に関する講演により分科会「あしたに挑戦！」が行われた。
- 東京都板青年部が主幹で群馬県渋川市「渋川カントリークラブ」に於いて、関東甲信越青年部ブロックゴルフコンペを開催した、参加者も86名で盛況に終了した。長野県板が団体優勝した。また個人優勝は浅野信一氏（東京）、2位・相原修治氏（千葉）、3位・原島猛氏（群馬）であった。
- 全板連/日板協青年部全国建築板金競技大会が静岡県富士宮市「富士教育訓練センター」で開催された。関東甲信越ブロックからは建築技術の部NYACで新潟県板・川上賢氏が第7位、新潟県板・大貫真氏が第8位、山梨県板・上條浩道氏が第9位、群馬県板・龜井洋和氏が第10位に入賞されました。
- 第54回全国板金業者大会が福島県の郡山市「ビッグパレット」で開催されました。
- 東京都板金工業組合創立35周年記念式典が都内・日暮里「ホテルラングウッド」で挙行されました。

平成15年度 (2003/4~2004/3)

事業内容

開催日	内 容	会 場
平成15年5月24日	第20回関東甲信越青年部通常総会	東京都 駐健保会館
平成15年6月5日	第35回関東甲信越ブロック総会	茨城県 五浦観光ホテル
平成15年6月14日	第4回全国青年部長会議	東京都 新宿ニューシティーホテル
平成15年6月15日	第28回全板連青年部通常総会	東京都 新宿ニューシティーホテル
平成15年6月7日	第1回幹事会	東京都 駐健保会館
平成15年7月5日	第2回幹事会・部長会	長野県 佐久市 一万里温泉ホテル
平成15年7月5日・6日	第18回関東甲信越青年部研修会	長野県 佐久市 一万里温泉ホテル
平成15年9月6日	第3回幹事会	東京都 駐健保会館
平成15年9月21日・22日	第24回全板連青年部あすなろ研究会	徳島県 ホテルサンシャイン徳島アネックス
平成15年10月26日	第4回幹事会・部長会	静岡県 伊豆長岡温泉 山田屋
平成15年10月26日・27日	第19回関東甲信越青年部ゴルフコンペ	静岡県 富士エース・ゴルフクラブ
平成15年12月6日	第5回幹事会・部長会	東京都 駐健保会館
平成16年1月18日	第6回幹事会・部長会	東京都 駐健保会館
平成16年1月18日	全国建築板金競技大会予備講習会	東京都 駐健保会館
平成16年2月7日・8日	全国建築板金競技大会第26回技能競技の部	静岡県 富士宮市 富士教育訓練センター
平成16年2月7日・8日	全国建築板金競技大会第14回建築技術の部	静岡県 富士宮市 富士教育訓練センター
平成16年2月21日	第7回幹事会	東京都 駐健保会館
平成16年3月13日	第1回20周年実行委員会	東京都 新宿ホテルセンチュリーサザンタワー
平成16年3月20日	第8回幹事会・部長会	東京都 駐健保会館

関東甲信越役員		所属都県板	
部 長	木村 治	群 馬	
副部長	中沢 裕	栃 木	
副部長	本多 聰	新 潟	
会 計	小澤 栄	茨 城	
監 事	山田 英夫	千 葉	
監 事	武井 文彦	山 梨	
幹 事(全板副部長)	戸井田 章	埼 玉	
幹 事(全板幹事)	大江 一郎	東 京	
幹 事	鹿川 宏	長 野	
幹 事	三原 浩治	神奈川	

青年部長		所属都県板	
小澤 栄	茨 城		
酒巻 豊	栃 木		
原島 猛	群 馬		
押田 昌敏	埼 玉		
荻野 英樹	千 葉		
森谷 尚次	東 京		
磯和 宏一	神奈川		
芦沢 雅人	山 梨		
坂井 隆義	長 野		
丸山 雄治	新 潟		

主な出来事

- 長野県板青年部主幹で長野県佐久市「一万里温泉ホテル」にて関東甲信越青年部ブロック研修会を開催した。参加者96名で講演「21世紀板金業界をステップアップさせる7つの方法」の内容を行い、テーマ「あしもとから見直す板金業」で分科会を2日間にわたり開催した。参加した青年部員は熱心に研修会に取り組んだ。
- 徳島県板青年部主幹で全板連青年部あすなろ研究会を徳島県徳島市「ホテルサンシャイン徳島アネックス」にて開催された。参加型の様々な研修プログラムが2日間にわたり行われた。
- 神奈川県板青年部が主幹で静岡県「富士エース・ゴルフクラブ」で関東甲信越青年部ブロックゴルフコンペを開催した、参加者も79名で盛況に終了した。群馬県板が団体優勝した。また個人優勝は原島猛氏(群馬)、2位・梨本正雄氏(長野)、3位・八尾板一男氏(長野)であった。
- 全板連/日板協青年部全国建築板金競技大会が静岡県富士宮市「富士教育訓練センター」で開催された。関東甲信越ブロックからは、建築技術の部NYACで長野県板・宮井雅弘氏が第5位、新潟県板・大貫真氏が第7位、埼玉県板・落合昇氏が第8位と入賞を果たしました。
- 第55回全国板金業者大会が北海道で開催されました。
- 埼玉県板金工業組合青年部創立20周年記念式典がさいたま市の「ラルフさいたま」で挙行されました。

ゴルフコンペ開催一覧

第10回 H6年7月10日～11日

優勝：歌川喜久雄（神奈川）
2位：監物 光（神奈川）
3位：井上 久行（山梨）

境川カントリークラブ

団体優勝：長野県板

担当県板：山梨県板

参加人数：82名

第11回 H7年7月6日～7日

優勝：井野 富夫（群馬）
2位：児玉 正男（新潟）
3位：栗山 作美（千葉）

伊香保ゴルフ俱楽部・伊香保グランドホテル宿泊

団体優勝：長野県板

担当県板：埼玉県板

参加人数：110名

第12回 H8年7月7日～8日

優勝：見川 和明（埼玉）
2位：庄田 淳一（長野）
3位：梨本 正雄（長野）

香木原カントリークラブ

団体優勝：長野県板

担当県板：千葉県板

参加人数：89名（85名ゴルフ参加）

第13回 H9年7月6日～7日

優勝：金木 金雄（千葉）
2位：益子 茂（茨城）
3位：伊平 雅夫（新潟）

鬼怒川森林カントリークラブ

団体優勝：栃木県板

担当県板：栃木県板

参加人数：90名

第14回 H10年7月5～6日

優勝：市川 智（栃木）
2位：池上 敬造（長野）
3位：石原 力平（長野）

プレスカントリークラブ・ホテル磯辺ガーデン宿泊

団体優勝：長野県板

担当県板：群馬県板

参加人数：87名コンペ参加

第15回 H11年7月4日～5日

優勝：池田 重喜（長野）
2位：池上 敬造（長野）
3位：益子 茂（茨城）

前夜祭、諏訪湖の森グリーンホテル・諏訪湖ゴルフクラブ

団体優勝：長野県板

担当県板：長野県板

参加人数：112名

第16回 H12年7月9日～10日

優勝：梨本 正雄（長野）
2位：小林 孝行（栃木）
3位：吉沢 隆夫（栃木）

小名浜スプリングホテル&ゴルフ俱楽部

団体優勝：栃木県板

担当県板：茨城県板

参加人数：80名

第17回 H13年10月21日～22日

優勝：清水 邦彦（新潟）
2位：山宮 剛（新潟）
3位：梨本 正雄（長野）

新潟県妙高サンシャインホテル・妙高サンシャインGC

団体優勝：長野県板

担当県板：新潟県板

参加人数：74名

第18回 H14年10月20日～21日

優勝：浅野 信一（東京）
2位：相原 修治（千葉）
3位：原島 猛（群馬）

群馬県伊香保温泉、「ホテル小暮」・「渋川カントリークラブ」

団体優勝：長野県板

担当県板：東京都板

参加人数：86名

第19回 H15年10月26日～27日

優勝：原島 猛（群馬）
2位：梨本 正雄（長野）
3位：八尾板一男（長野）

静岡県長岡温泉「山田家」・「富士エースゴルフクラブ」

団体優勝：群馬県板

担当県板：神奈川県板

参加人数：79名

全板連青年部あすなろ研究会開催一覧

第15回 青森県青森市「ホテル青森」

平成6年9月16・17日

- 【研究内容】①寸劇「技能の星 大介」=長野県板にて労働力確保推進事業として発行された漫画をもとに脚本演出
②グループ討論会=寸劇を題材にした討論

第16回 岐阜県岐阜市「岐阜グランドホテル」

平成7年9月17・18日

- 【研究内容】①講演「鵜飼の説明」
②講演「人づくりプログラムを作成した意味」
③講演「建築板金業の人づくりプログラム」
④講演「女性からみた建築板金業の人づくり」
⑤分科会「建築板金の人づくりプログラム」

第17回 奈良県天理市「奈良プラザホテル」

平成8年9月8・9日

- 【研究内容】①講演「経営と雇用の改善について」
②グループ別討論会
③全体のまとめ

第18回 愛媛県松山市「道後プリンスホテル」

平成9年9月28・29日

- 【研究内容】①講演「責任施行制度についての基本的な考え方」
②講演「責任施行制度の仕組みと役割」
③講演「責任施行制度の取り組み方法と将来展望」
④講演「責任施行制度の運営事例」
⑤分科会 上記講演内容に伴う

第19回 大分県別府市「別府杉乃井ホテル」

平成10年9月17・18日

- 【研究内容】①講演「21世紀を生き残るために」
②体験学習「板金業生き残りゲーム」
③分科会 上記講演内容に伴う

第20回 千葉県千葉市「ホテルグリーンタワー幕張」

平成11年9月12・13日

- 【研究内容】①講演 一業界の新しいネットワークの構築—「パソコン活用法」
②コース別実習

第21回 岩手県盛岡市「ホテルニューカリーナ」

平成12年9月22・23日

- 【研究内容】①講演「品確法と責任施行制度」
②講演「責任施行制度への取り組み方」
③講演「リフォーム工事への取り組みの推進」
④講演「太陽光発電システムへの取り組み」
⑤分科会 上記講演内容に伴う

第22回 石川県七尾市「ホテルのと楽」

平成13年9月9日・10日

- 【研究内容】①講演「専門工事業としての戦略」他業界の場合
②講演「専門工事業としての戦略」わが業界の場合
石川県板竹野理事長・熊本県板石崎理事長

第23回 滋賀県大津市「大津プリンスホテル」

平成14年9月8日・9日

- 【研究内容】講演 全板連・日板協の概要と活動内容・柴田全板連事務局長
分科会 上記講演内容に伴なう「あしたに挑戦」

第24回 徳島県徳島市「ホテルサンシャイン徳島アネックス」

平成15年9月21日・22日

- 【研究内容】講演 板金業のリフォーム事業・マドック
分科会 「板金業の夢を語る」「板金業の明日を語る」「グループディスカッション」

全国建築板金競技大会

平成6年～15年度

全国建築板金競技大会

第26回 静岡県富士宮市

技能競技(ZIC)の部		
順位	氏名	所属
第1位	金井 保栄	静岡
第2位	西 一次	大阪
第3位	松下 賢士	大分
第4位	山本 新一	青森
第5位	加賀屋三広	秋田

第14回 平成15年

建築技術(NYAC)の部		
順位	氏名	所属
第1位	山崎 一夫	島根
第2位	大西 孝則	奈良
第3位	喜多 一彰	石川
第4位	越智 善朗	香川
第5位	宮井 雅弘	長野



第25回 静岡県富士宮市

技能競技(ZIC)の部		
順位	氏名	所属
第1位	佐藤正太郎	福島
第2位	金井 保栄	静岡
第3位	山本 新一	青森
第4位	田原 悅二	北海道
第5位	小手森重孝	福島

第13回 平成14年

建築技術(NYAC)の部		
順位	氏名	所属
第1位	宇野 勝義	愛知
第2位	大西 孝則	奈良
第3位	久保田建嗣	熊本
第4位	浜田 英雄	香川
第5位	田中 裕也	高地



第24回 静岡県富士宮市

技能競技(ZIC)の部		
順位	氏名	所属
第1位	佐々木悦男	秋田
第2位	野村 克之	秋田
第3位	金井 保栄	静岡
第4位	金子 純平	香川
第5位	三浦 孝	福島

第12回 平成13年

建築技術(NYAC)の部		
順位	氏名	所属
第1位	加藤 丈晴	岐阜
第2位	川上 賢	新潟
第3位	山田 裕二	山口
第4位	開地 雄二	石川
第5位	大西 孝則	奈良



第23回 静岡県富士宮市

技能競技(ZIC)の部		
順位	氏名	所属
第1位	川崎 弘	兵庫
第2位	佐々木悦雄	秋田
第3位	豊田 敏夫	千葉
第4位	西出 尚生	三重
第5位	野崎 慎一	長野

第11回 平成12年

建築技術(NYAC)の部		
順位	氏名	所属
第1位	桑原 勝則	群馬
第2位	片山 匠裕	愛知
第3位	宇野 勝義	愛知
第4位	伊藤 秀二	三重
第5位	中辻 安則	奈良



第22回 高知県高知市

技能競技(ZIC)の部		
順位	氏名	所属
第1位	鈴木 健友	秋田
第2位	佐々木悦雄	秋田
第3位	川崎 弘	兵庫
第4位	金井 保栄	静岡
第5位	村上 浩	大分

第10回 平成11年

建築技術(NYAC)の部		
順位	氏名	所属
第1位	桑原 敏彦	群馬
第2位	片山 匠裕	愛知
第3位	藤井 秀幸	愛知
第4位	横山 政昭	青森
第5位	中辻 安則	奈良



第21回 鳥取県鳥取市

技能競技(ZIC)の部		
順位	氏名	所属
第1位	伊藤 博美	秋田
第2位	川崎 弘	兵庫
第3位	鈴木 健友	秋田
第4位	高瀬 泰隆	大分
第5位	安本 英治	香川

第9回 平成10年

建築技術(NYAC)の部		
順位	氏名	所属
第1位	平瀬 秀樹	岐阜
第2位	桑原 敏彦	群馬
第3位	田村 章浩	香川
第4位	藤井 秀幸	愛知
第5位	木下 奉文	滋賀



全国建築板金競技大会

第20回 静岡県静岡市

技能競技(ZIC)の部		
順位	氏名	所属
第1位	片山 匠裕	愛知
第2位	室伏 公基	静岡
第3位	佐藤 博文	大分
第4位	寺下 博基	長野
第5位	伊藤 博美	秋田

第8回

平成9年

建築技術(NYAC)の部

順位	氏名	所属
第1位	助川 啓一	茨城
第2位	平瀬 秀樹	岐阜
第3位	久保田敏之	群馬
第4位	青野 力	静岡
第5位	横山 政昭	青森



第19回 福島県郡山市

技能競技(ZIC)の部		
順位	氏名	所属
第1位	越前谷 満	秋田
第2位	片山 匠裕	愛知
第3位	吉田 永一	福島
第4位	藤田 欣宏	青森
第5位	泉 孝幸	秋田

第7回

平成8年

建築技術(NYAC)の部

順位	氏名	所属
第1位	小林 茂	群馬
第2位	平瀬 秀樹	岐阜
第3位	関 孝樹	福島
第4位	青野 力	静岡
第5位	原田 直記	山形



第18回 茨城県水戸市

技能競技(ZIC)の部		
順位	氏名	所属
第1位	佐藤 剛	秋田
第2位	朝岡 昇	愛知
第3位	手度 和彦	福島
第4位	宇野 賢	愛知
第5位	菅野 昌弘	福島

第6回

平成7年

建築技術(NYAC)の部

順位	氏名	所属
第1位	金子 正勝	岩手
第2位	新井 勇司	埼玉
第3位	小林 茂	群馬
第4位	平瀬 秀樹	岐阜
第5位	玉田 恵二	神奈川



第17回 熊本県熊本市

技能競技(ZIC)の部		
順位	氏名	所属
第1位	今泉 慎一	福島
第2位	斎藤 高志	長野
第3位	宇野 賢	愛知
第4位	手度 和彦	福島
第5位	井手 浩一郎	福岡

第5回

平成6年

建築技術(NYAC)の部

順位	氏名	所属
第1位	尾形 誠	福島
第2位	新井 勇司	埼玉
第3位	平瀬 秀樹	岐阜
第4位	村上 聰	長野
第5位	木下 奉文	滋賀



全国建築板金競技大会 実施要領から一部抜粋

【目的】

□技能競技の部 (ZIC : Zenbanren Infancy Contest)

技能者が新しい時代の要請に応えていくためには、技能の基本に立脚し、創意・工夫を重ねていかねばならない。具体的には、建築板金業における生産力の基礎を成す〈技能〉の継承及び向上に資すること、国民の住生活向上に重要な役割を担う建築板金業の基本能力である〈技能〉の振興に対する決意と取り組みを内外に表明する。

□建築技術の部 (NYAC : Nichibankyo Youth Architecture Contest)

建築板金業における、良質な工事の確保に必要な施工管理技術の向上に資することと共に、国民の住生活向上に重要な役割を担う建築板金業の施工管理能力〈責任施工能力〉の向上に対する決意と取り組みを内外に表明し、建築の様式や工夫の変化に対応した施工技術の向上と有能技術者を建築板金業界に確保し、建築業界の振興発展に寄与する。

全国建築板金競技大会の実施に際して

平成16年6月に開催された第5回全国青年部長会議において、建築技術の部（NYAC）の今後のあり方をはじめとして、全国の青年部の仲間からたくさんの貴重なご意見をいただきました。

私たち全日本板金工業組合連合会（全板連）並びに社団法人日本建築板金協会（日板協）青年部では、皆様からいただいたご意見を参考に協議を重ね、

§ NYACの理念に基づく今後の方針性 § § ZICを通じた競技大会への取り組みについて §

と題した文章を作成し、全板連・日板協青年部としての競技大会の方針性を、今一度明確にし、なお一層のお力添えをお願いしていくことになりました。

今回、実施要綱等と一緒に配布させていただきますので、是非ご一読いただいた上で、競技大会の意図するもの、また、それにかける「情熱」や「おもい」をくみ取っていただき、ひとりでも多くの参加者があることを切に望みます。

平成16年9月30日
全日本板金工業組合連合会
社団法人日本建築板金協会
青年部

NYACの理念に基づく今後の方針性

図面を描いた事が無い、今後も描く事は無いと思っている方は、現場や元請会社、あるいは直接御施主様との打合せで、施工の納まりをフリーハンドで描いた事は無いですか。きっとあるはずです。もし今までなかったとしても今後、口頭で説明するには不十分な時が絶対に来るはずです。そのような場合、基本ができている人、すなわち施工図の描ける人と、施工図を描いた事も無い人の差というのは、はっきりと出てくるものです。線を引く事ひとつにおいても違ってくるものです。

また、CADを使っている方、まだ使ってないがこれから時代は手書きの図面ではなくCADで描けばいいとお考えの方、基本ができていないのに正確な図面が描けるでしょうか。これも同様に、基本のしっかりできている人と、自己流で基本の無い人との違いは歴然としています

“基本を身に付ける”ということにおいて、この競技大会は、まさに絶好の機会であると言えます。IT化された今の時代に、なぜ建築士の国家試験が未だに手書きで行われているのかを考えてみてください。機械に頼るのではなく、一人の人間の実力で勝ち得るもののが資格であり、そのように修得したか

らこそ、今後の仕事に役立つではないでしょうか。建築士は図面を描くのが仕事で、私達は図面に応じた施工をするのが仕事である。などと言っている時代はもう過去の話です。今、私達がすべき仕事は、もっと広い視野で観察し、他より先に見つけ出し、御客様に満足していただく答えを出す事だと思います。

図面を描くと言う事は、私達の業界では、営業能力・交渉能力・信頼性・将来性・自己表現など、いろいろな面においても自分自身のスキルアップになるはずです。必要となった時に始めるのではなく、必要となった時には実行できなければ、今の厳しい時代には、取り残されてしまいます。

今の我々の業界においては、求められた事をする“実行力”だけでなく、自分が無いものを作り上げていく“行動力”が必要となっているのではないでしようか。

御客様（施主・元請業者）に、建築士の描いた図面ではなく、施工業者の描く図面であるからこそ価値があるのだと、解らせたいではないですか。

他の選手の作品を見て今後の仕事の上に役立たせるいい機会として、図面を描いた事が無い方こそ、この競技大会に参加する価値があるのではないかでしようか。

この厳しい時代を乗り越えていく手段のひとつとして、競技大会に参加して、自分の視野を広げ、自分を磨き、新しい自分を創りましょう。

ZICを通じた競技大会への取り組みについて

ともすれば「取付屋」とさえ酷評される昨今の我が業界にあって、青年部の若いエナジーで取り組む物とは何でしょうか。時には、あすなろ研究会でモチベーション向上を目指したり、あるいは、地元の業務に直結する責任施工保証であったりします。

さて、競技大会での製作はどうでしょうか？課題の練習作品が役立つわけでもなく、仕事が終わってからとか、休日を割いたりしてまで取り組む価値があるのか？そういった声をよく聞きます。また、普段の仕事ではめっきり減ったハンダ付けの作業を、わざわざ炭火を熾して行う必要があるのか、細かな作業工程も日常にフィードバックしないではないか？確かにそうです。

では、これらの作業は、もう、我々の業界に必要は無いのでしょうか？これに対する答えは、皆さんがお持ちのはずです。そうです、「ノー」です。

私たちが取り組んでいる競技大会の方向性は、基本を守る、という事です。ですから、治具を禁止し、ごくありきたりの道具のみで参加していただきます。ある方向では、治具を工夫し、効率よく製品を生産するのがビジネスだという見解もあります。利益を上げなければならない企業人として、当然の思考です。しかしながら、そのとき、作業に対する基本がわかつていなかったとしたらどうでしょうか。なぜ不良品が出るのか？効率を上げるポイントは？精度を上げる要は？実はいずれも解答は競技大会の中にあります。しかも、自らが体で習得できる状態にあります。ハンダ付け一つとっても、コテの焼き具合や、どうやってハンダがなじんで銅板に溶着するのか、その結果仕上がりはどうなるのか、など、基本として身につけておくべきことはたくさんあります。普段必要な技術だ、という意見もあります。いいえ。普段しないのであれば、なおさら取り組むいい機会ではないでしょうか？

我々は、たった一枚の銅板を加工して様々な作品を作る事が出来るのです。これは、他の業界には絶対にまねの出来ない、私たちだけの誇りなのです。その誇りを守る事が出来るのもやはり、我々しかいません。私どもの競技大会は、決して生産効率を競

うのではありません。自分の腕を磨き遺憾なく發揮し、先人たちの膨大なノウハウを受け継ぎ伝える、という、ある意味業界にとって欠く事の出来ない位置づけであるのです。

つまり、競技大会とは、我が業界の最高の技能を競い合い、磨きあう、すばらしい場所であるのです。かといって、腕に自信がない、と躊躇する必要は全くありません。前述したように、仲間同士が“競い合い”“磨き合う”機会なのです。果敢に挑戦する事も、決して無駄ではありません。むしろ、そうすることによって、自分のスキルが向上し、自信がつき、経験は財産となり実を結ぶ事でしょう。私たち青年部員は、くまなく競技大会に参加する権利があり、かつ、技能の継承を行う義務があります。それらが、業界の原動力であり、若いエナジーではないでしょうか。

ところで、今、競技大会は、富士教育訓練センターという会場で、設営・運営・採点のすべてにわたって、役員のみならず、各ブロックからの設営スタッフの協力を得て、まさに手作りの大会を呈しています。実は、舞台裏は、想像以上に重労働なのです。大会前日から会場入りして、設営スタッフ共々力の限り動きます。選手の皆さんを迎えるために、一生懸命準備をします。そうして出来た舞台に臨んでいただぐ参加選手たちもまた、その舞台の一員であるとさえいえます。我々が、我々の手で、我々の過去と未来のために開催している大会。あるいは、青年部という組織の強化の一端を担って取り組んでいる事業。参加選手も、設営スタッフも、実に夢のある、やりがいのある役割だとは思いませんか。どちらも、自分にとって、青年部にとって、共に貴重な財産になる事は間違いないところです。

筆者自らが体験したからこそ、皆さんにお伝えしたいのです。身につけた基本は年月を経ても忘れませんし、貴重な経験は血となり骨となります。何十年も仕事をしていく中で、ほんのわずかの日数です。この「与えられたカリキュラムをこなす」という行為も実は、“業務の計画的実行能力”という側面での実用性につながっているといえます。

この厳しい時代に応えていくためには、業界単位でしなければいけない事と同時に、個々で取り組むべき姿勢があると思います。攻撃は最大の防御である、との言葉にあるように、果敢に挑戦し、大いに前進していくうではありませんか。競技大会をそのための切り口の一つとして、青年部ならではの取り組みをしていくうではないですか。

関東甲信越板金工業組合青年部協議会
【 設立趣意書 】

1. 設立の趣旨

我々建築業の下請業種にとって、ここ数年の変わりようは目をみはるものがあります。特にオイルショック以来の住宅着工戸数の減少にともなう工事量の低下に加えて、材料価格の上昇、工事単価の切り捨て、さらには取り引き先の倒産による貸倒れの発生など、我々を取り巻く環境は大変に厳しいと言わざるをえません。

そうした中で現在はもとより将来にわたって建築板金業界で生きてゆく我々青年経営者及び事業後継者は、経営の合理化を柱として新製品、新工法への取り組みや営業姿勢の見なおし、技術の向上などまだ多くを学び、自己の経営者としての資質を高めていかなければなりません。

このような共通の目的をもった我々は都県単位の青年部を結成して前記の目的の達成に向けて活動し、さらには業界人としても結束を強めています。いま我々は関東甲信越地域における青年部組織の相互の連絡、情報交換を進め、さらには共同事業を興すなどして前記の目的を一層確実に達成するべく、関東甲信越板金工業組合協議会のご指導を仰ぎながら、ここに関東甲信越板金工業組合青年部協議会を結成します。

2. 名称

関東甲信越板金工業組合青年部協議会と称する。

(以下「青年部」と略す)

3. 地区

関東甲信越板金工業組合協議会の範囲とする。

(以下「親協議会」と略す)

4. 事務所の所在地

事務所は板金会館（東京都港区三田）の中におく

5. 会員の資格

親協議会に所属する都県組織の代表者の承認を受けた青年部員

6. 運営費

親協議会からの助成金をもって充て会員に対する経費の賦課の必要が生じた時は総会において諾否を決定する。

7. 事業計画の概要

- (1) 技術の向上、企業の改善に関する研修及び情報の提供、調査研究
- (2) 会員たる都県青年部の情報交換の場の提供及び会員に所属する構成員の相互理解と親睦を図るための事業
- (3) 親協議会並びに全板連青年部に対する協力事業
- (4) 本青年部地区内の都県板青年部結成の促進
- (5) その他会員に所属する構成員の自己啓発に役立つ諸々の事業

8. 役員の定数及び任期

(1) 役員の定数

幹事 都県青年部の役員 各1名

(互選により会長1名、副会長2名、会計1名)

評議員 都県青年部の構成員2名

監査役 2名

(2) 任期

2年とする

昭和59年7月29日

関東甲信越板金工業組合青年部協議会

設立発起人代表	全日本板金工業組合連合会青年部 (関東甲信越ブロック担当)
設立発起人	副部長 曽根 隆
〃	栃木県板金工業組合青年部 部長(代理) 津吹 孝行
〃	埼玉県板金工業組合青年部 部長 河野 俊尚
〃	東京都板金工業組合青年部会 副部会長 積田 勇樹
〃	長野県板金工業組合青年部会 会長 堀地 忠明
〃	群馬県板金工業組合青年部 部長 須藤 泰光

関東甲信越板金工業組合協議会青年部規約

第1章 総 則

(目的)

第1条 本会は、会員の事業の円滑化を図るとともに板金業界の現在及び将来を担う人々の資質の向上と業界の安定的発展を目指し、あわせて全日本板金工業組合連合会青年部（以下「全板連青年部」という。）の発展に寄与することを目的とする。

(名称)

第2条 本会は、関東甲信越板金工業組合協議会青年部と称する。

(地区)

第3条 本会の地区は、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、新潟県の区域とする。

(事務所の所在地)

第4条 本会は、事務所を関東甲信越板金工業組合協議会（以下「親協議会」という。）の事務所に置く。

第2章 事 業

(事業)

第5条 本会は、第1条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- {1} 会員相互の情報交換及び連携
- {2} 会員組織の発展を図るための、組織及び活動に関する情報提供及び相互連絡
- {3} 会員及びその構成員に対する、指導及び教育
 - イ. 技能及び経営に関する研修
 - ロ. 情報又は資料の収集及び提供
 - ハ. 調査研究
- {4} 会員及びその構成員の相互交流
 - イ. 情報交換の場の提供
 - ロ. 相互理解と親睦を図小あわせて自己啓発を促すための事業
- {5} 親協議会及び全板連青年部に対する事業の協力
- {6} 前各号に付帯する事業

第3章 会 員

(会員の資格)

第6条 本会の会員たる資格を有する者は、本会地区内の板金工業組合青年部とする。
ただし所属する各都県板代表者の承認を受けた者とする。

(加入)

第7条 会員たる資格を有するものは、本会の承諾を得て、加入することができる。
本会は、加入の申込みがあったときは、幹事会においてその諾否を決する。

(脱 退)

第8条 会員は、あらかじめ本会に通知したうえで、事業年度の終りにおいて脱退することができる。
前項の通知は、事業年度の末日の30日前までに、その旨を記載した書面でしなければならない。

(経費の賦課)

第9条 本会は、その行う事業の費用に充てるため、会員に経費を賦課することができる。
前項の経費の額、その徴収の時期及び方法その他経費の賦課について必要な事項は総会において定める。

第4章 役員、顧問

(役員の定数)

第10条 役員の定数は、次のとおりとする。

- {1} 幹事 8名以内
- {2} 監事 2名

(役員の任期)

第11条 役員の任期は、次のとおりとする。

- {1} 幹事 2年
- {2} 監事 2年

- 2 補欠のため選出された役員の任期は、現任者の残任期間とする。
- 3 任期の満了又は辞任によって退任した役員は、新たに選出された役員が就任するまで、なお役員としての職務を行う。(部長、副部長、会計の選任及び職務)

第12条 幹事のうち1人を部長、2人を副部長、1人を会計とし、幹事会において選任する。

- 2 部長は、本会を代表し、本会の業務を執行する。
- 3 副部長は、部長を補佐し、部長が事故又は欠員のときは、あらかじめ幹事会において定めた順位にしたがい、その職務を代理し、又は代行する。
- 4 会計は、本会における出納の一切を管理する。

(監事の職務)

第13条 監事は、何時でも、会計の帳簿及び書類の閲覧若しくは謄写をし、又は幹事及び会計に対し会計に関する報告を求めることができる。

- 2 監事は、その職務を行うため特に必要があるときは、本会の業務及び財産の状況を調査することができる。

(役員の選出)

第14条 本会の役員は、各会員組織の役員のうちから2名を指名推薦の方法によって行う。

- 2 役員のうちから2名を監事とする。

(顧問)

第15条 本会に、顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、幹事会の議決ののち、親協議会の承認を経て、部長が委嘱する。

第5章 総会、幹事会

(総会の招集)

第16条 総会は、通常総会及び臨時総会とする。

2. 通常総会は、毎事業年度終了後に、臨時総会は、必要があるときは何時でも、幹事会の議決を経て部長が招集する。

(総会の議事)

第17条 総会の議事は、評議員の過半数以上(委任状出席を含む)が出席し、その議決権の過半数で決するものとし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(総会の議長)

第18条 総会の議長は、総会ごとに、出席した評議員のうちから選任する。

(総会の議決事項)

第19条 総会においては、次の事項を議決する。

- {1} 前年度における、事業報告及び決算関係書類の承認
- {2} 当該年度における、事業計画及び収支予算の決定又は変更
- {3} 経費の賦課及び徴収の方法
- {4} 規約の変更又は廃止
- {5} その他幹事会において必要と認める事項

(評議員の定数)

第20条 評議員の定数は、20名以内とする。

(評議員の任期)

第21条 評議員の任期は、2年とする。

2 第11条第2項（役員の任期）の規定は、評議員の任期に準用する。

(評議員の選出)

第22条 評議員の選出は、各会員組織の構成員のうちから2名を指名推薦の方法によって行う。

(幹事会の招集)

第23条 幹事会は、必要に応じて部長が招集する。

(幹事会の議事)

第24条 幹事会の議事は、幹事の過半数（委任状を含む）が出席し、その過半数で決する。

(幹事会の議決事項)

第25条 幹事会は、次の事項を議決する。

{1} 総会に提出する議案

{2} その他業務の執行に関する事項で幹事会が必要と認める事項

第6章 会計

(事業年度)

第26条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(運営費用)

第27条 本会の運営に関する費用は、助成金、協賛金、賦課金等により行う。

第7章 その他の事項

(その他の事項)

第28条 本規約に定めのない事項は、幹事会の決定により運営する。

2 総会、幹事会の決定事項及びその他の重要事項に関することは、報告書を親協議会に提出する。

付 則

1 本規約は、昭和59年9月4日に成立し施行する。

2 平成5年6月6日改正

3 平成15年5月24日改正

名簿

関東甲信越板金工業組合協議会青年部幹事・部長・都県板事務局



部長 木村 治 (株)木村

〒372-0013 群馬県伊勢崎市植木本町2646-22
☎0270-21-1263 ☎0270-21-1188 携帯: 090-3242-9413
E-mail: info@kimura-bankin.co.jp



副部長 本多 聰 (有)本多板金

〒945-1355 新潟県柏崎市軽井川2028-4
☎0257-32-0667 ☎0257-32-0637 携帯: 090-1883-0334
E-mail: p0021763@m4.clicq.ne.jp



副部長 中沢 裕 中沢板金

〒329-0223 栃木県小山市下生井1185-6
☎0280-55-1074 ☎0280-55-1157 携帯: 090-2329-1639
E-mail: nakazawa@kun.ne.jp



会計 小澤 栄 小澤板金

〒311-2433 茨城県潮来市堀之内2112
☎0299-64-6449 ☎0299-64-6449 携帯: 090-3149-3161
E-mail: n9646449@hyper.ocn.ne.jp



幹事 大江 一郎 大江金属工業(株)

〒142-0051 東京都品川区平塚3-2-17-105
☎03-5749-4900 ☎03-3788-2282 携帯: 090-3404-9300
E-mail: taro@thrasher.club.ne.jp



幹事 戸井田 章 (株)伸起産業

〒362-0051 埼玉県上尾市大字地頭方538-9
☎048-726-3805 ☎048-726-3806 携帯: 090-3105-8503
E-mail: a-toida@nifty.com



幹事 山田 英夫 山田板金

〒278-0043 千葉県野田市清水233-6
☎0471-22-1358 ☎0471-22-2351 携帯: 080-1074-7027
E-mail:



幹事 武井 文彦 武井板金

〒409-0626 山梨県大月市七保町瀬戸134
☎0554-24-7021 ☎0554-24-7080 携帯: 090-3554-6441
E-mail: hiko@mx9.ttcn.ne.jp



幹事 鹿川 宏 鹿川板金工業

〒399-8212 長野県南安曇郡堀金村三田3244
☎0263-73-5112 ☎0263-73-8786 携帯: 090-3093-9178
E-mail: shikagawabankinn@k7.dion.ne.jp



幹事 三原 浩治 (有)船木板金工業

〒246-0061 神奈川県鎌倉市台5-3-18
☎0467-44-2300 ☎0467-46-0004 携帯: 090-1123-4425
E-mail: burikiya@chive.ocn.ne.jp

平成16年度関東甲信越板金工業組合協議会青年部部長名簿



原島 猛 (有)原島板金

〒373-0812 群馬県太田市東長岡406
☎0276-45-3429 ☎0276-45-3445 携帯：090-8592-1946
E-mail : harashimabankin@k7.dion.ne.jp



森谷 尚次 (有)森谷板金工業所

〒164-0012 東京都中野区本町5-11-6
☎03-3382-1451 ☎03-3382-1452 携帯：090-9107-4461
E-mail : shoji@tmail.plala.or.jp



卜部 勇一 (有)卜部板金工業

〒310-0844 茨城県水戸市住吉町44-13
☎029-247-3920 ☎029-247-8025 携帯：090-1553-7490
E-mail :



荻野 英樹 荻野板金工業所

〒260-0805 千葉県千葉市中央区宮崎町527-2
☎043-261-0927 ☎043-261-0927 携帯：090-3007-9231
E-mail : htoogh@gw2.u-netsurf.ne.jp



酒巻 豊 (有)酒巻板金工業

〒329-0205 栃木県小山市間々田1639-5
☎0285-45-2373 ☎0285-45-2373 携帯：090-3342-6492
E-mail : yu_6492@amber.plala.or.jp



押田 昌敏 (株)押田工業所

〒331-0046 埼玉県さいたま市西区宮前町690-3
☎048-623-5587 ☎048-623-5590 携帯：090-8891-6358
E-mail : masa@oshida-ind.co.jp



丸山 雄治 (有)丸山板金

〒943-0821 新潟県上越市土橋1078-8
☎025-523-3971 ☎025-525-6076 携帯：090-8813-5483
E-mail : maruban@joetsu.ne.jp



坂井 隆義 (有)坂井板金

〒386-0005 長野県上田市古里826-2
☎0268-22-4162 ☎0268-23-6770 携帯：090-8593-4375
E-mail : s-b_tyrc@khaki.plala.or.jp



磯和 宏一 磯和板金工業

〒252-0822 神奈川県藤沢市葛原1088-6
☎0466-48-3569 ☎0466-48-3582 携帯：090-3137-2496
E-mail : isowa_bankin@yahoo.co.jp



芦沢 雅人 芦沢板金工業

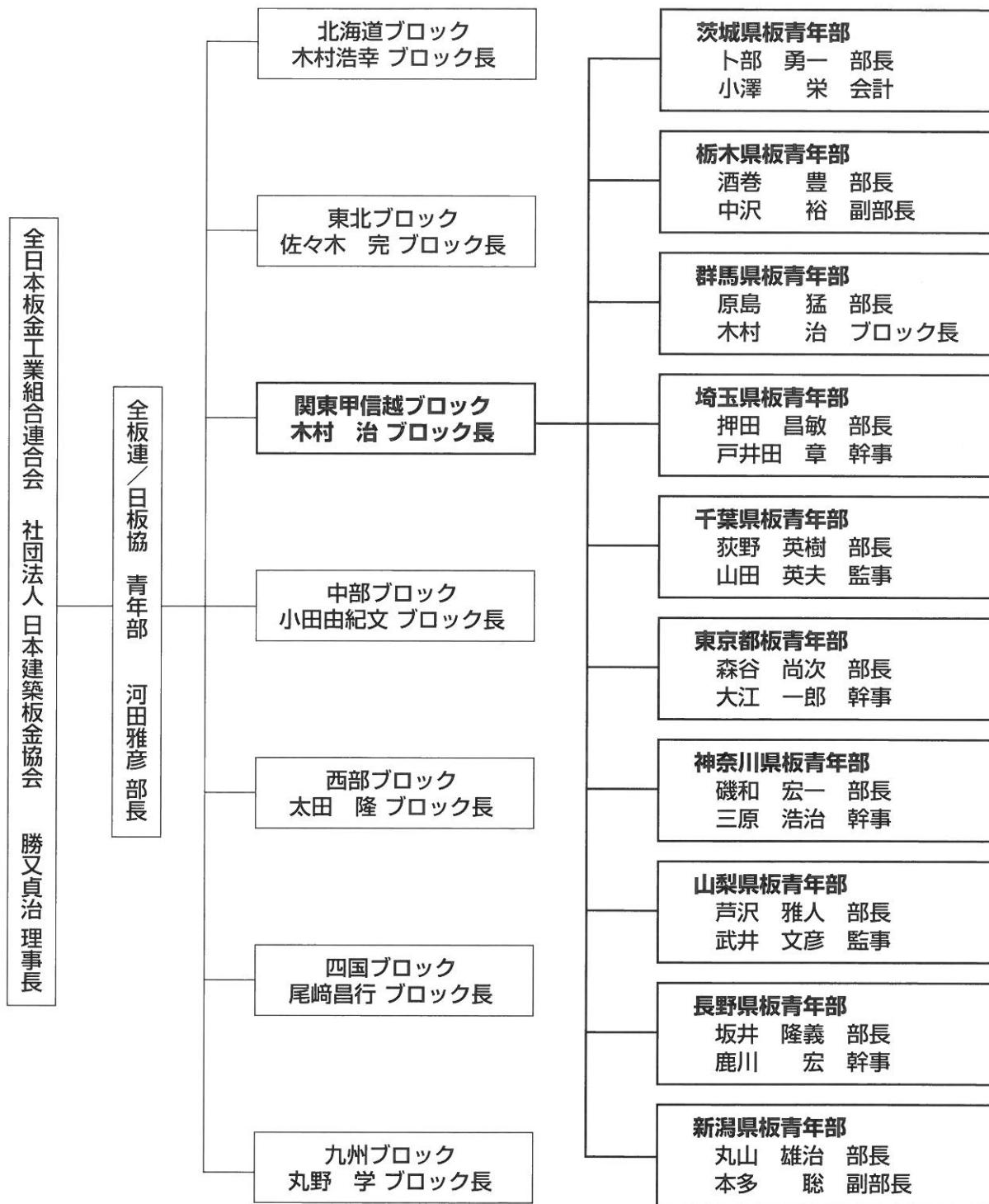
〒400-0213 山梨県南アルプス市西野2884-1
☎055-282-7969 ☎055-282-7857 携帯：090-1047-2658
E-mail : step-out@beige.plala.or.jp

都県板事務局名簿

組合名	理事長	郵便番号	住所 電話番号	FAX番号	組合員数
茨城県板金工業組合	西村欣章	311-4142	水戸市東赤塚2152 029-254-6120	ファミールミヤモト107 029-254-6420	260
栃木県板金工業組合	半澤節夫	325-0011	黒磯市寺子2302-40 0287-64-4320	0287-64-4320	242
群馬県板金工業組合	小林慶一	379-2123	前橋市山王町2-40-11 027-266-0263	027-267-0318	250
千葉県板金工業組合	御須利昭	260-0005	千葉市中央区道場南1-5-3 043-222-7581	043-222-7581	270
埼玉県板金工業組合	河野俊尚	362-0013	上尾市上尾村1016-28 048-770-6810	048-770-6811	240
東京都板金工業組合 ◎	宮澤秀幸	108-0073	港区三田1-3-37 03-3451-9226	板金会館2階 03-3456-6270	678
神奈川県板金工業組合	櫻井俊雄	231-0024	横浜市中区吉浜町1-9 045-662-2164	エトアール吉浜504 045-663-6464	405
山梨県板金工業組合	秋山由正	400-0047	甲府市徳行4-16-26 055-236-6025	レクセル甲府301 055-236-6026	86
長野県板金工業組合	畠山喜文	380-0954	長野市安茂里犀北団地8102-2 026-227-7187	026-228-5945	510
新潟県板金工業組合	小片勇	945-0827	柏崎市宮場町2-27 0257-23-5962	0257-23-0388	660

※◎印は協議会事務局

関東甲信越板金工業組合協議会青年部組織図



編集後記

今回の関東甲信越板金工業組合協議会青年部創立20周年記念誌の発刊にあたりましては、記念誌実行委員会を設置し編集作業を進め、各方面の多数の方々よりご協力・情報を得て、各都道府県板青年部現役部長・関東甲信越ブロック幹事、また関東甲信越ブロックOBに多大なご協力を頂き感謝致します。

全板連/日板協・勝又貞治理事長をはじめとし、全板連/日板協青年部・河田雅彦部長、関東甲信越板金工業組合協議会・宮澤秀幸会長、歴代部長の皆様にはご祝辞を賜り、誠に有難う御座いました。

記念誌実行委員会も中々集まる事の出来ない中、また資料の乏しい状態からの編集となり非常に苦労致しましたが、年度ごとの事業内容など見やすい構成に配慮させて頂きました。

関東甲信越板金工業組合協議会青年部が昭和59年9月、関東甲信越の5都県に依って正式発足をしてから、20周年を迎えることができ、現在では関東甲信越の10都県板に依って運営されています。各年度関東甲信越ブロックの事業に関しましては、関東甲信越板金工業組合協議会を始めとする各都県板組合の皆様、また各都県板青年部のご理解ご協力を頂きありがとうございます。

創立20周年にあたり大きな節目とし、過去10年間の歴史や実績を称え振り返ると共に今後の時代を新たな気持ちで取り組み、今後の青年部活動がより一層、飛躍し繁栄することを期待すると共に、この記念誌が今後の青年部活動の参考資料としてご活用頂ければ幸いに存じます。

なお、記念誌作成にあたり協賛を頂きました各商社及びメーカー各社、資料提供に協力して頂きました記念誌実行委員会の皆様に深く感謝申し上げ、編集後記とさせて頂きます。

以上

平成16年11月

実行委員長 大江 一郎（東京）

副実行委員長 戸井田 章（埼玉）

記念誌委員長 中沢 裕（栃木）

記念式典委員長 本多 聰（新潟）

記念誌委員会 各都県板部長一同

記念式典委員会 各都県板関東甲信越ブロック幹事一同

写真で見る歩み

平成**6**年度
1994



第10回関東甲信越青年部ゴルフコンペ



第10回関東甲信越青年部研修会



全国建築板金競技大会

写真で見る歩み

平成 7 年度
1995



全国建築板金競技大会



第11回関東甲信越青年部研修会



第11回関東甲信越青年部研修会



第11回関東甲信越青年部研修会



第12回関東甲信越青年部ゴルフコンペ

平成 8 年度
1996



全国建築板金競技大会

平成 9 年度
1997



第13回関東甲信越青年部ゴルフコンペ



第13回関東甲信越青年部研修会



第13回関東甲信越青年部研修会



第13回関東甲信越青年部研修会



第13回関東甲信越青年部研修会



第13回関東甲信越青年部研修会

写真で見る歩み

平成 10 年度
1998



第14回関東甲信越青年部研修会



第14回関東甲信越青年部研修会



第19回全板連青年部あすなろ研究会

平成 11 年度
1999



第20回全板連青年部あすなろ研究会



第20回全板連青年部あすなろ研究会

平成 12 年度
2000



全国建築板金競技大会



第21回全板連青年部あすなろ研究会

第15回 関東甲信越板金工業組合協議会
青年部 研修会

第16回関東甲信越青年部ゴルフコンペ

写真で見る歩み

平成**13** 年度
2001



全国建築板金競技大会

平成**14** 年度
2002



第17回関東甲信越青年部研修会



第16回関東甲信越青年部研修会



全国建築板金競技大会

平成 15 年度
2003



合同部長会



合同部長会



合同部長会



合同部長会



合同部長会



合同部長会



第20回関東甲信越青年部通常総会



第18回関東甲信越青年部研修会



第18回関東甲信越青年部研修会



第18回関東甲信越青年部研修会



第18回関東甲信越青年部研修会



第18回関東甲信越青年部研修会



第18回関東甲信越青年部研修会



第18回関東甲信越青年部研修会

写真で見る歩み

平成 15 年度
2003



第18回関東甲信越青年部研修会



第18回関東甲信越青年部研修会



全国建築板金競技大会予備講習会



全国建築板金競技大会予備講習会



全国建築板金競技大会予備講習会



全国建築板金競技大会予備講習会



全国建築板金競技大会